

件 名

大口径幹線対策検討および設計業務

質 疑 回 答 書

回答日： 令和8年9月2日

番号	質 問	回 答
1	既設管調査が必要となった場合、既設管の水量は調査可能な水量でしょうか。水量が多い場合は水替え工法も変更対象でしょうか。	合流管の水量は調査可能な水量ですが、それ以外は、水替え工法等の対策が必要なぐらい水量は比較的多い幹線です。 基本的に、「必須（必要）となる作業内容」は特記仕様書に記載のとおりです。 その上で、特記仕様書に記載のない事項について、企画提案書の提案事項に含めるかは貴社にてご検討ください。 業務締結後、特記仕様書と企画提案書のどちらにも記載のない事項について、新たに必要となる作業等が発生した場合は、本市監督員と協議の上、設計変更など必要な対応を取ってください。
2	耐震計算は実施しないで良いでしょうか。	番号1と同様です。
3	部分的な改築を検討する際に、圧縮強度、他の調査必要と考えますが、調査資料はありますか。調査が必要な場合は設計変更と考えてよいでしょうか。	圧縮強度などの既設管きよの耐力調査資料はありません。 基本的に、「必須（必要）となる作業内容」は特記仕様書に記載のとおりです。 その上で、特記仕様書に記載のない事項について、企画提案書の提案事項に含めるかは貴社にてご検討ください。 業務締結後、特記仕様書と企画提案書のどちらにも記載のない事項について、新たに必要となる作業等が発生した場合は、本市監督員と協議の上、設計変更など必要な対応を取ってください。